

シオン

Aster tataricus L. fil.キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 II

選定理由 日本における分布域は狭く、県内では主として中部・南部地域に分布する。湿地開発や植林などで消滅する生育地が多くなり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 津江山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，大分川・大野川丘陵地，大野川上流域

分布域 本州(中国地方) 九州(熊本・大分・宮崎)
朝鮮半島 中国(北部・東北部) 蒙古 アムール ウスリー 東シベリア

生育環境 丘陵地や低山地の湿地。

現 状 生育地付近では、人家に栽培されていて、自生するものと区別できにくいものがある。

備 考 大陸系遺存植物。九州は、分布の南限域。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]

ウラギク

Aster tripolium L.キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 II

選定理由 県内の生育地は海岸や河口の塩湿地に限られていて、点在し、個体数は極めて少ない。海岸の埋立てや河川敷の浚渫などによる改変で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 周防灘海岸，別府湾沿岸域，豊後水道域

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
樺太 朝鮮半島 中国(北部・東北部) シベリア 蒙古 樺太 中央アジア，
コーカサス 欧州

生育環境 海岸の塩湿地。

現 状 海岸や河口の塩湿地に生育しているが、海岸の埋立てや河川敷利用などによって消滅した所がある。

備 考 国立・国定公園指定植物 [瀬戸内海，耶馬日田英彦山，日豊海岸]

モミジタマブキ

Cacalia farfaraefolia Sieb. et Zucc.
var. *acerina* (Makino) Kitamuraキク科
Compositae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

選定理由

県内分布 (津江山地)

分布域 本州(東海道 近畿地方南部) 四国 九州(熊本?・大分)

生育環境 低山地の渓谷沿いの林内。

現 状 「津江山地」で採集された標本はあるが、その後、生育状態は把握されていない。